

高度救命救急センターを受診している患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学病院倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	熱中症患者の医学情報等に関する疫学調査
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原 祥裕
担当科等	救命救急科
研究責任者	教授 武山 直志
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	日本救急医学会 熱中症に関する委員会委員長 清水 敬樹 帝京大学医学部附属病院 医学部救急医学講座 助手 神田 潤 他、全国の救急認定施設 約 50 施設
研究の意義・目的	熱中症発生の実態調査であり、救急医療施設における熱中症患者の急増を即時に把握し、関係諸機関へ警告することを目的とします。
対象となる患者さん	2017 年から 2019 年の 7 月 1 日から 9 月 30 日までの期間に熱中症と診断され当院で入院治療を受けた患者さんおよび当院で外来診療を受けた外国人旅行者や身体障害がある患者さんを対象とします。
研究の方法	受診した熱中症患者さんの診療録から年齢、性別、発症日、発症の時間帯、発生時の天気、発生場所、受診後の経過、重症度分類、筋肉運動の有無に関する情報を入手し、これらを用います。 入手した診療情報をもとに調査用紙の項目に回答を記入し送付します。他の参加施設である救急医療施設からも調査用紙が送付され、即日登録された情報が集積し、集計された情報は翌日公開されます。その後、気象庁や総務省消防庁のデータなどと統合し、的確な熱中症注意報を発令するための方法論の確立に向けて解析、検討が行われます。 研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できます。希望する場合は下記にご連絡下さい。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2021 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報	受診した熱中症患者の診療録から年齢、性別、発症日、発症の時間帯、発生時の天気、発生場所、受診後の経過、重症度分類、筋肉運動の有無に関する情報等を使用します。
外部への試料・情報の提供	研究の主管となる日本救急医学会 熱中症に関する委員会に Fax を用いて送付します。

試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への利用を拒否される方は、下記「問い合わせ先」までお申し出てください。ただし、試料・情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 救命救急科 担当者：助教 森 久剛 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311(内線 35371)